

事務事業名	緑化推進支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成02年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費					(単位：千円)		
市民		31年度（決算額）		2年度（決算額）		3年度（予算額）		
	事業費	3,552		3,663		1,962		
	人件費	2,960		2,972		2,972		
目 的	総事業費	6,512		6,635		4,934		
市民の緑に対する意識の高揚を図るとともに、緑化を推進します。	3年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金			0			
		県支出金			0			
		市債			0			
		その他			0			
		一般財源			1,962			
		合 計			1,962			
手段、手法【実施手法：直営・委託】								
・グリーンアップセンター内「緑の相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。								
・基準を満たす接道部緑化(生垣等)について、現物給付又は設置費用の助成を行います。								
成 果（効果・予測）								
市民が緑に関する知識を高め、緑化の手法を得ることにより、市内の緑化推進が期待できます。また、生垣設置による緑視率向上が期待できます。	活動指標 1	名称	緑化相談				単位	件
		内容説明	緑化相談件数					
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定	900	900	450		
			実 績	988	828	－ － －		
	活動指標 2	名称	生垣設置助成数				単位	件
		内容説明	費用助成、現物給付、ブロック塀撤去助成件数					
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定	4	4	2		
			実 績	0	2	－ － －		
	活動指標 3	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定					
			実 績			－ － －		
課 題	活動指標 4	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定					
			実 績			－ － －		

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	II：見直しのうえで継続
	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、緑の相談業務の対応日数を減らすことなどにより、市民への安全対策に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑化推進、緑地保全、緑に関する意識啓発を目的とした事業のため、市が助成を行うなどの関与をする必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	今後も緑の相談コーナー、生垣設置助成のPRに努めていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。
	A	A	B	緑の相談業務の対応日数を減らすことにより、経費を削減します
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	事業にかかる費用の大半は自己負担であり、受益者負担は適正であると言えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民に対して、広報誌やホームページで緑化推進についての情報提供を行うとともに、環境負担軽減にもつながる緑化についての相談に対し、助言を行っています。

事務事業名	緑地保全事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和56年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)							
要綱に基づく保全緑地対象地区内の山林及びその所有者		31年度（決算額）		2年度（決算額）		3年度（予算額）						
	事業費	31,248		34,564		38,328						
	人件費	4,440		4,459		4,459						
目 的	総事業費	35,688		39,023		42,787						
泉の森他7箇所の緑地を保全します。	3年度事業費（予算額）財源内訳											
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・保全緑地対象地区内の山林所有者と有償で保全緑地契約を締結し、緑地の管理と保全を行います。 ・必要に応じて緑地を取得します。												
							国支出金	0				
							県支出金	0				
							市債	0				
							その他	25,496				
							一般財源	12,832				
	合 計		38,328									
3. 活動内容												
活動指標1	名称	保全緑地の賃貸借契約面積				単位	㎡					
	内容説明	土地所有者と賃貸借契約をしている面積										
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度							
		予 定	229,007	230,652	229,459							
		実 績	230,652	229,459	―――							
活動指標2	名称	保全緑地内市有地面積				単位	㎡					
	内容説明	保全緑地内の市有地面積（みどり基金買取分を含む）										
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度							
		予 定	71,258	71,453	73,762							
		実 績	71,453	73,762	―――							
活動指標3	名称					単位						
	内容説明											
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度							
		予 定										
		実 績			―――							
活動指標4	名称					単位						
	内容説明											
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度							
		予 定										
		実 績			―――							
課 題	現在の保全緑地は、地権者のご理解とご協力により保全されていますが、その継続のためには、より効果的な施策を検討していく必要があります。											

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・森林環境譲与税の動向を踏まえ、緑地の減少を防ぐための方策を検討していきます。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創成総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑の保全のため、私有財産を借り上げることから市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	保全緑地の継続的契約の働きかけと優先度の高い緑地への基金を利用した計画的な買収を進める必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	緑地の賃貸借料は固定資産税相当額であり、概ね適正水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	緑地保全のための地権者との賃貸借契約事業であり、対象の選定は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の管理には多くの市民ボランティアが参加しています。また、緑地の確保は地球温暖化対策に役立っています。

事務事業名	保存樹林等支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち	
	個別目標	環境を守り育てる	
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和48年度		設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
保存樹林、保存生垣、保存樹木として指定要件を有する物件の所有者			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	30,364	30,991	31,847	
		人件費	2,886	3,195	3,195	
目 的		総事業費	33,250	34,186	35,042	
市街化区域内に点在する緑（保存樹林、保存生垣、保存樹木の総称）を保存します。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		31,572		
		一般財源		275		
		合 計		31,847		
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	保存樹林の指定面積			単位	㎡
	内容説明	指定している山林の面積				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	102,313	86,689	84,768	
		実 績	86,689	84,768	— — —	
成 果（効果・予測）						
市街化区域内に点存する樹林、生垣、樹木が保存され、緑を残すことができます。また、緑の持つ大気浄化、地表熱の緩和、雨水浸透、防災などの様々な機能を市全体が享受するとともに、通行者・他の土地所有者の緑地保全への意識啓発につながります。						
活動指標 2	名称	保存生垣の指定箇所数			単位	箇所
	内容説明	指定している生垣数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	171	169	162	
		実 績	169	162	— — —	
活動指標 3	名称	保存樹木の指定本数			単位	本
	内容説明	指定している樹木数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	37	39	38	
		実 績	39	38	— — —	
課 題						
近年、相続発生等の理由による保存樹林の指定解除面積が、新規指定面積を大幅に上回っています。また、保存樹林の新規指定はほとんど無く、今後の新規指定面積の増加は期待できません。						
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	当面は現状の事業を継続していきますが、緑の保全を進めるため、支援制度の内容について引き続き広報等により周知を図ります。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	土地の所有者と協定等を締結し、緑地保全のために緑化奨励金を支払うという性質上、市が行う必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	現在保存樹林に指定されている山林を計画的に市民緑地へ移行させ、永続的な担保性を高める施策を検討する必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	維持管理は所有者が行い、市は土地の固定資産税相当額程度を所有者に支払い、保全するものであり、適正であるといえます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	条例に基づき、市内に残る貴重な緑地を保全するため、所有者の協力を得て保全協定を締結している事業であり、対象の選定は公平であり適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	土地所有者の協力を得て事業を実施しています。街中の緑を保全することにより、大気の浄化とヒートアイランドの緩和、雨水浸透や防災等の環境負担軽減に役立っているといえます。

事務事業名	既設公園等大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和50年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）		
		事業費	176,220	167,977	142,182		
		人件費	19,240	13,376	11,393		
目 的		総事業費	195,460	181,353	153,575		
利用者の安全を確保し、利便性を向上させる改修工事を行います。		3年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金			0		
手段、手法【実施手法：直営・委託】		県支出金			0		
		市債		109,300			
		その他			0		
		一般財源		32,882			
		合 計		142,182			
3. 活動内容							
活動指標 1	名称	改修又は新設した施設数			単位	箇所	
	内容説明	1年間に改修・新設した施設数					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定	28	22	14		
		実 績	36	31	――		
成 果（効果・予測）							
・公園の安全性が保たれます。 ・公園の機能と利用者の利便性が向上します。		名称	改修又は新設した遊具等の数			単位	箇所
		内容説明	1年間に改修・新設した遊具等の数				
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
			予 定	13	15	11	
			実 績	19	15	――	
活動指標 2	名称	公園施設長寿命化計画に伴い改築した遊具の数			単位	基	
	内容説明	1年間に改築した遊具の数					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定	3	3	5		
		実 績	3	3	――		
課 題							
・整備後約20年が経過した公園が都市公園の約8割を占め、損傷や老朽化など施設の危険性が増大しています。このため、今後も公園施設の長寿命化計画に基づき計画的な遊具等の修繕更新を進める必要があります。		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
			予 定				
			実 績			――	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	・公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の修繕、更新を計画的に行い、利用者の安全を確保していきます。					
	・引地台公園の改修工事により、公園利用者への利便性の向上を図ります。					
	・使用材料の耐久性、コスト面を考慮しながら、より経費の削減が図れるような改修を心がけ継続していきます。					
	【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園管理者である市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	適正な管理・維持・更新が行われ、常に安全な状態で市民が公園利用を行っています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約行為により事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としているため、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民の要望を取入れた事業実施を行っています。事業実施にあたってはユニバーサルデザインを考慮し、また低公害型の機器等の使用による環境負担軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成13年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費 (単位：千円)			
市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	39	9	39
		人件費	814	817	817
目 的		総事業費	853	826	856
大和市自然観察センター・しらかしのいえを市民、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団、市の三者で運営します。また市民ボランティアを育成します。 手段、手法【実施手法：直営】 しらかしのいえボランティア協議会の代表、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団の代表、行政の代表の三者の協議により、しらかしのいえを運営するためしらかしのいえ運営委員会を開催します。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		39
			合 計		39
3. 活動内容					
活動指標1	名称	運営委員会開催回数			単位 回
	内容説明	しらかしのいえ運営委員会を開催した回数			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	6	6	6
		実 績	6	4	――
活動指標2	名称	講演会開催回数			単位 回
	内容説明	しらかしのいえボランティア会員を対象とした講演会の回数			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	0	――
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定			
		実 績			――
課 題	運営に関して、市民（ボランティア代表）、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団、市それぞれの立場と考え方があり、方向性を確認しながらの運営が必要となります。				

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	市民・財団・市の3者で行う事業であり、泉の森の環境保全及びボランティア活動の活性化に向け、今後も3者で連携しながら、取り組んでいきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民・財団・市の3者で行っている事業であり、市が関与する必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	泉の森における自然環境が保たれています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業にかかる費用については、市民ボランティア向けの研修会等で使われており、事業費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	事業にかかる費用については、市民ボランティア向けの研修会等で使われており、対象の選定は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	泉の森の環境保全を保つため、市民ボランティアが活動し、緑地の確保により地球温暖化対策にも役立っています。

事務事業名	ゆとりの森整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成15年度		令和08年度		24年

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費					(単位：千円)		
市民		31年度（決算額）		2年度（決算額）		3年度（予算額）		
	事業費	36,547		25,567		5,477		
	人件費	7,400		7,431		4,459		
目 的	総事業費	43,947		32,998		9,936		
ゆとりの森の広々とした空間を活かし、市民にスポーツとレクリエーションの場を提供します。	3年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金				0		
		県支出金				0		
		市債				4,800		
		その他				0		
		一般財源				677		
		合 計				5,477		
手段、手法【実施手法：直営・委託】								
・基本計画、実施計画に基づきスポーツ施設、レクリエーション施設を整備します。								
成 果（効果・予測）								
・スポーツ施設及びレクリエーション施設を整備することにより、幅広い年齢層での活用が期待できます。								
課 題	活動指標 1	名称	整備面積				単位	ha
		内容説明	ゆとりの森整備完了面積（年間）					
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定	0	0	0		
			実 績	0	0	――		
	活動指標 2	名称	整備進捗率				単位	%
		内容説明	累計整備進捗率（整備済み面積÷計画面積×100）					
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
			予 定	91	91	91		
			実 績	91	91	――		
活動指標 3	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標 4	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定						
		実 績			――			
・大規模多目的スポーツ広場（東側）予定地内にある民有地について、国による確保が進まない状況にあります。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	利用者に喜ばれるような公園にできるよう、事業内容を見直しながら整備を進めてまいります。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園整備は、公園管理者である市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	公園施設の整備事業は、年次計画通り順次進捗しています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約事務により、事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	公園施設は原則として市民の誰しものが自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。また一部の施設は、その特性から専用利用となってしまうため、有料公園施設に位置付け、自己負担として適正な利用料を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ユニバーサルデザインや環境負担軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	ゆとりの森管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		地方自治法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
大和ゆとりの森を利用する市民等			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	57,997	60,748	60,748
		人件費	7,209	5,695	3,716
目 的		総事業費	65,206	66,443	64,464
ゆとりの森をスポーツとレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるよう管理運営します。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		9,999
			一般財源		50,749
			合 計		60,748
		3. 活動内容			
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。	活動指標1	名称	管理日数	単位	日
		内容説明	ゆとりの森の管理日数		
		指標値		31年度	2年度（当該年度）
			予 定	366	365
			実 績	366	365
成 果（効果・予測） 施設を適正に管理することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができます。	活動指標2	名称		単位	
		内容説明			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――
課 題 芝生の園地が多いので、適切な管理が必要です。	活動指標3	名称		単位	
		内容説明			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――
	活動指標4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		―――

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定管理により、ゆとりの森の管理運営を行います。 （指定管理期間：令和2年度から令和6年度までの5年間）					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	都市公園法の規定により、都市公園の管理者は市となっています。指定管理者制度を導入していますが、全ての管理権限を委ねることはできません。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の節減を図るとともに、市民サービスにおいては質の向上を目指します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の節減を図っています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	一部の施設については、その特性上、専用利用となってしまうことから、有料公園施設に位置付け、自己負担分として適正な利用料金を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページなどで情報を提供するとともに、指定管理者の自主事業では、市民参加が行われています。

事務事業名	大規模緑地整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成21年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	1,158	1,650	2,102
		人件費	1,480	1,486	1,486
目 的		総事業費	2,638	3,136	3,588
市内に残る貴重な資産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくための整備を進めます。	手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・用地買収、賃貸借契約、市民緑地、借地公園等の手段を効果的に組み合わせて、緑地を確保していきます。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金			0
		県支出金			0
		市債			0
		その他			0
		一般財源			2,102
		合 計			2,102
		3. 活動内容			
		活動指標1	名称	大規模緑地内の市所有緑地等面積	単位 h a
			内容説明	将来にわたって永続的に保全が可能な形態になった緑地の面積	
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	26.2
				実 績	26.2
成 果（効果・予測） 市内に残された貴重な緑地が将来にわたって保全され、多様な生物の生息場所やヒートアイランド現象の緩和を図れるとともに、市民の憩いの場として利用できます。		活動指標2	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	
		活動指標3	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	
課 題 地権者のご理解ご協力が必要です。		活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続 ・前年に引き続き土地所有者と用地買収、賃貸借契約の継続のため協議をしていきます。また、用地買収を進めるため、国や県の制度の導入の可能性について関係機関と協議を進めます。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創成総合戦略関連事業】				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	長期にわたって、大規模緑地の保全を図るため、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	土地所有者の意向確認を行いながら、用地交渉に繋げていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	用地交渉に伴い測量費を計上しており、事業費は概ね適正な水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市の緑の拠点となる大規模緑地は市民に潤いや、やすらぎを与える空間であり、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の確保は地球温暖化対策に役立っています。

事務事業名	みどり基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和61年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
大和市みどり基金、市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	1,569	459	307	
		人件費	1,110	1,115	1,115	
目 的		総事業費	2,679	1,574	1,422	
緑の保全のための基金を適正に管理します。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0	
		県支出金			0	
		市債			0	
		その他			306	
		一般財源			1	
		合 計			307	
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	みどり基金募金活動			単位	日
	内容説明	イベント等で募金活動した日数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	4	4	4	
		実 績	4	0	— — —	
活動指標 2	名称	基金運用利子			単位	千円
	内容説明	公債購入等による運用利子				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	1,698	393	198	
		実 績	1,473	451	— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
緑地の買い入れを目的とする基金ですが、今後、基金の大幅な増額が望めないことから、運用に際しては安全かつ効率的な運用を、また、買い入れに際しては、その土地の必要性・重要性を精査する必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続				
	効率的なみどり基金の運用を行います。また、各種イベントにおける募金活動などを通じて、更なる緑化推進、緑地保全の啓発を行うとともに、基金のPRも展開していきます。				

事務事業名	公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
市の管理する公園を利用する市民等			31年度（決算額）		2年度（決算額）		3年度（予算額）		
		事業費	330,224		314,976		303,508		
		人件費	14,711		15,620		14,355		
目 的		総事業費	344,935		330,596		317,863		
市民が公園を安全で快適に利用できるように維持管理します。		3年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		5,623					
		一般財源		297,885					
		合 計		303,508					
手段、手法【実施手法：直営・委託】									
直営、委託等により、適切に維持管理を行います。									
成 果（効果・予測）									
・安全で快適に公園を利用できます。 ・市民が災害時に避難等するための空間を確保できます。		活動指標 1		名称	公園の清掃			単位	回
				内容説明	延べ清掃回数				
		指標値				31年度	2年度（当該年度）	3年度	
				予 定	21,000	22,000	22,000		
				実 績	22,641	21,923	――		
		活動指標 2		名称	公園設備の維持補修			単位	回
				内容説明	延べ維持補修回数				
指標値				31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定	5,000	5,000	5,000				
		実 績	4,836	4,783	――				
活動指標 3		名称	公園の管理面積			単位	ha		
		内容説明	維持管理した公園の面積						
課 題		指標値				31年度	2年度（当該年度）	3年度	
				予 定	158	159	160		
				実 績	158	160	――		
・建設後20～30年経過している公園が多く、遊具を始めとして施設が老朽化しており、安全点検の充実、交換、大規模修繕が必要です。 ・遊具の安全性や公園の防犯対策に対して市民の関心が高くなっており、今後、行政、地域、学校等による総合的な対応が必要となってきます。		活動指標 4		名称				単位	
				内容説明					
		指標値				31年度	2年度（当該年度）	3年度	
				予 定					
				実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅰ：現状のまま継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	・民間への委託により、維持管理作業・監視業務を行います。 ・昨年度に引き続き、維持管理に必要な使用材料の耐久性等を十分に考慮し、さらに安価なものを採用するなど、より経費の削減が図れるよう心がけていきます。					

事務事業名	引地台公園・温水プール・立体駐車場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する			
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している			
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成03年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場、引地台公園を利用する市民等			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	149,305	150,676	77,347	
		人件費	2,220	2,081	1,981	
目 的		総事業費	151,525	152,757	79,328	
市民が引地台温水プール、引地台公園等を安全かつ快適に利用できるよう適切に管理運営します。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		2,098		
		一般財源		75,249		
		合 計		77,347		
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	年間開場日数			単位	日
	内容説明	1 年間に開場した日数（引地台温水プール）				
	指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	280	280	0	
		実 績	249	198	――	
成 果（効果・予測）						
施設を適正に管理運営することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができます。						
活動指標 2	名称	1 日当たりの入場者数			単位	人
	内容説明	1 日平均				
	指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	700	700	0	
		実 績	706	144	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
利用している市民の安全確保が最優先の課題となるため、施設の老朽化に伴う補修が定期的に必要なとなります。						
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度
	I：現状のまま継続 ・令和3年度から令和8年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度を導入し管理運営を行います。				

事務事業名	多胡記念公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成11年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費 (単位：千円)			
多胡記念公園（慈緑庵）を利用する市民等			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	5,021	5,042	5,867
		人件費	740	669	619
目 的		総事業費	5,761	5,711	6,486
多胡記念公園を、茶道、華道、書道、句会等、市民に文化教養活動の場を提供できるように管理運営します。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		5,867
			合 計		5,867
手段、手法【実施手法：指定管理】					
指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。					
成 果（効果・予測）					
適切な施設管理により快適な施設利用を提供できます。					
課 題		3. 活動内容			
		活動指標1	名称	年間開館日数	単位 日
			内容説明	1年に開館した日数	
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				300	300
				300	300
			予 定	300	300
			実 績	282	229

		活動指標2	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		

		活動指標3	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		

		活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定		
			実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	・令和3年度から令和8年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度を導入し管理運営を行います。 ・現状の利用者は高い年齢層の方が多いため、若い年齢層への利用を促すために学校施設へのPRを継続します。					

事務事業名	公園用地等借受事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和49年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費（単位：千円）			
公園用地等			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	30,213	30,113	34,062
		人件費	3,222	4,098	2,601
目 的		総事業費	33,435	34,211	36,663
市民に憩いや遊びの場を提供するため、公園等の用地の確保を図ります。 手段、手法【実施手法：直営】 土地所有者から土地を借り上げ、緑の広場として市民に開放します。 大和ゆとりの森や泉の森等において国有地、県有地、民有地の継続借受及び新規借受を行います。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		34,062
			合 計		34,062
		3. 活動内容			
		活動指標1	名称	緑の広場賃借	単位 件
			内容説明	緑の広場賃借数	
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	18
				実 績	16
成 果（効果・予測） 子どもの遊び場、近隣住民のコミュニケーションの場、その他オープンスペースとしての機能が期待されます。		活動指標2	名称	公園等用地借受面積	単位 ㎡
			内容説明	公園等用地として借受けている面積	
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	432,762
				実 績	— — —
		活動指標3	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	— — —
課 題 賃貸借での用地借受となるため地権者の都合により継続できなくなる可能性があります。		活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	— — —

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	泉の森等公園用地借受事業と統合し、公園用地等借受事業として実施していきます。					

事務事業名	緑化ボランティア等育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和59年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)		
		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）			
	事業費	7,996	7,247	8,020			
	人件費	3,260	3,288	3,164			
	総事業費	11,256	10,535	11,184			
緑地保全・緑化推進等のボランティア活動に参加している（参加しようとしている）市民団体（公園愛護会等登録団体）	3年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金	0				
		県支出金	0				
		市債	0				
		その他	2,998				
目 的		一般財源	5,022				
	合 計		8,020				
	3. 活動内容						
	活動指標 1	名称	ボランティア活動・緑地保全活動実施日数			単位	日
		内容説明	会議活動等に参加した日数				
指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定	12	12	12		
		実 績	12	12	――		
成 果（効果・予測）	名称	公園愛護会活動交付金の交付			単位	団体	
	内容説明	交付団体数					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定	124	125	120		
		実 績	121	119	――		
地域住民が、地域の財産として緑を保全するという意識が醸成されます。	名称	愛護会花苗配布団体			単位	団体	
	内容説明	花苗配布団体数					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定	127	127	125		
		実 績	130	122	――		
課 題	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定					
		実 績			――		
ボランティア参加者の高齢化、人員確保などが公園愛護活動継続上の課題です。	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度		
		予 定					
		実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	市から各愛護会団体に対して花苗を配布し緑化推進を積極的に行っていきます。 公園・緑等の保全には、市民ボランティアの積極的な参加が必要なことから、引き続きボランティア育成事業は継続していきます。					

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成05年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
自然観察センター・しらかしのいえを利用する市民等		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
	事業費	21,883	22,676	22,517
	人件費	740	743	619
目 的	総事業費	22,623	23,419	23,136
しらかしのいえを、緑地保全や自然に関連した事業及び活動を行うための施設として、適切に維持管理します。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託】 しらかしのいえの施設管理及び運営管理を委託します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		22,517
		合 計		22,517
3. 活動内容				
活動指標1	名称	年間開館日数		単位 日
	内容説明	1年間に開館した日数		
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定	300	300
		実 績	282	229
活動指標2	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標3	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
課 題	今後、施設の老朽化に伴う修繕や設備の更新が必要となつてきます。			

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	・ 泉の森の管理形態に変更がないことから、この公園の管理を行う当施設においても当分の間委託を継続していきます。					
	・ 施設管理者と連絡を密にし施設老朽化状況を的確に把握することで計画的な維持管理に努めます。					

事務事業名	グリーンアップセンター維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
グリーンアップセンターを利用する市民等			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	20,218	21,113	21,431	
		人件費	740	743	619	
目 的		総事業費	20,958	21,856	22,050	
グリーンアップセンターを、都市緑化の啓発及び知識の普及を行うための施設として、適切に維持管理します。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		21,431		
		合 計		21,431		
手段、手法【実施手法：委託】						
グリーンアップセンターの施設管理及び運営管理を委託します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	年間開館数			単位	日
	内容説明	1年間に開館した日数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	282	229	— — —	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度
	I：現状のまま継続				
	・ふれあいの森の管理施設である当施設は、今後も継続して委託を行います。 ・施設管理者と連絡を密にし施設老朽化状況を把握し、計画的な施設修繕に繋がります。				

事務事業名	環境保全団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	温室効果ガスの排出量が削減されている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成03年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市内事業者及び市民		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
	事業費	132	136	64
	人件費	1,850	1,858	1,858
目 的	総事業費	1,982	1,994	1,922
本市の環境を保全する活動を行っている団体を支援します。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・補助金による助成を行います。 ・事務局として支援を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		64
		合 計		64
3. 活動内容				
活動指標1	名称	補助金の交付		単位 千円
	内容説明	交付した補助金の額		
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定	180	180
		実 績	132	136
活動指標2	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標3	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		
活動指標4	名称			単位
	内容説明			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）
		予 定		
		実 績		

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	大和市の環境を保全していくため、会員企業とともに、様々な事業を展開していきたいと考えています。しかしながら、経済状況の悪化により会員企業数が減少傾向にあることから、今後も引き続き、事業や会員増加策等の運営について検討していきます。					

9955
一般会計

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	法改正前の旧台帳を現行の台帳に再整備し、公園の管理方式を指定管理へ移行可能な状態にしていきます。 公園用地としての寄付行為があった場合には、公園台帳を整備し、都市公園として位置付けていきます。					

事務事業名	泉の森等公園用地借受事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和63年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
	事業費	41	41	0
	人件費	2,172	2,353	0
目 的	総事業費	2,213	2,394	0
泉の森や大和ゆとりの森など、市民に憩いの場を提供します。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 泉の森等公園の国有地、県有地等の継続借受及び新規借入を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容

活動指標1	名称	公園用地の取得または借受した公園用地面積			単位	㎡
	内容説明	公園用地の取得または借受した公園用地面積（累積）				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	421,612	435,668	0	
		実 績	421,612	432,762	―――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	II：見直しのうえで継続	2年度	III：廃止または終了
	緑の広場等管理運営事業と統合し、公園用地等借受事業として実施していきます。					

事務事業名	野生鳥獣保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		
		特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成09年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)	
野生鳥獣の捕獲・飼養の許可等を受けようとする市民		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）		
	事業費	1,077	1,795	1,533		
	人件費	2,220	2,229	2,229		
目 的	総事業費	3,297	4,024	3,762		
野生鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図ることにより、生物多様性を確保します。	3年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金		0			
	県支出金		763			
	市債		0			
	その他		6			
	一般財源		764			
	合 計		1,533			
手段、手法【実施手法：直営・委託】	3. 活動内容					
・申請内容を審査し、野生鳥獣の捕獲を許可します。 ・申請内容を審査し、野生鳥獣の飼養登録を行います。 ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスの捕獲について委託を行います。	活動指標 1	名称	傷病野生鳥獣保護件数		単位	件
		内容説明	怪我をした野生鳥獣を保護した件数			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定	15	15	15
			実 績	1	1	――
成 果（効果・予測）	活動指標 2	名称	野生鳥獣生活被害相談件数		単位	件
内容説明		野生鳥獣による生活被害について相談を受けた件数				
指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	120	120	120	
		実 績	176	239	――	
野生鳥獣の保護を図ることにより、野生鳥獣とふれあえる機会が増えるなど、自然環境の恵沢を享受できる市民生活が確保できます。	活動指標 3	名称	有害鳥獣捕獲数		単位	体
		内容説明	生活被害、農業被害に係る有害鳥獣捕獲数			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定	25	25	25
			実 績	19	10	――
課 題	活動指標 4	名称			単位	
内容説明						
指標値			31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	
住居に鳥獣が住みついたり、巣をつくるなど、住居の管理を行う場合に、安易に駆除の方向に動く傾向が見受けられます。 鳥獣の性質や鳥のヒナに対する対処法を市民に周知する必要があります。		名称			単位	
		内容説明				
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定			
			実 績			

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	野生鳥獣の保護を行うため、捕獲等の許可事業を継続して実施するとともに、特定外来生物対策を行っています。また、アライグマ、ハクビシン、タイワンリスによる被害については委託により対応します。なお、生物多様性の観点から野生鳥獣の保護を念頭に置き、傷病鳥獣対応や有害鳥獣捕獲許可申請の審査を厳正に行います。					

事務事業名	緑化施策の企画・調整・推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	都市緑地法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成18年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内に存する緑と市民、行政及び企業		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
	事業費	129	0	156
	人件費	3,700	3,716	3,716
目 的	総事業費	3,829	3,716	3,872
市内における緑化の推進及び緑の保全に関する計画の進行管理を行います。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・緑の基本計画や環境基本計画に数値的な目標を定め、諸施策の進行を管理します。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			20
	一般財源			136
	合 計			156

3. 活動内容

活動指標1	名称	公共施設における緑のカーテンの設置			単位	箇所
	内容説明	公共施設で設置した緑のカーテンの箇所数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	10	10	15	
		実 績	16	15	――	
活動指標2	名称	緑のカーテン作り方教室参加者数			単位	人
	内容説明	緑のカーテン作り方教室への参加者数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	100	100	40	
		実 績	35	0	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	緑の基本計画、大規模緑地等保全計画の進行管理を行います。 「緑のカーテン」については、今後も、公共施設及び一般家庭への普及・啓発を継続します。					

事務事業名	(公財) かながわトラストみどり財団に関する事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費			
市民		(単位：千円)			
		31年度（決算額）		2年度（決算額）	
		3年度（予算額）			
		事業費	0	0	0
		人件費	1,110	1,115	1,115
目 的		総事業費	1,110	1,115	1,115
本市内にトラスト緑地を指定し緑地保全を図っているかながわトラストみどり財団に協力することにより、本市の緑地保全を図ります。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		0	
		合 計		0	
手段、手法【実施手法：直営】					
・かながわトラストみどり財団が指定する緑地の契約事務、管理について協力します。 ・かながわトラストみどり財団県央地区推進協議会事務局の一員として同協議会の活動に協力します。					
成 果（効果・予測）					
・多くの緑地を保全することができます。 ・保全すべき緑地を判断する上で、神奈川県レベルでの見解を得ることができます。					
課 題					
大和市内のかながわトラストみどり財団が所管する緑地は、泉の森の一部と久田緑地の2箇所ですが、緑地周辺の住民からの管理面の要望については、より速やかな対応が望まれます。					

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度
	I：現状のまま継続 今後も、かながわトラストみどり財団と協力して、市内の緑地保全を継続して行っています。				

事務事業名	市民緑地設置推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち	
	個別目標		環境を守り育てる	
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる	
根拠法令	名 称	都市緑地法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市内に存する一定要件を満たす土地の所有者及び市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	1,110	1,115	1,115	
目 的		総事業費	1,110	1,115	1,115	
市民が直接自然にふれあう場の確保、公園不足地域の解消、緑の保全活動の場と機会の創出を図ります。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		手段、手法【実施手法：直営・委託】				
・一定要件を満たす土地所有者からの申し出により市民緑地契約を締結します。						
・地域住民団体に同市民緑地の維持管理を委託します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	市民緑地箇所数			単位	箇所
	内容説明	市民緑地の箇所数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
現状では新規設置が進んでいません。今後は土地所有者からの申し出だけでなく、市からのアプローチにより計画的に実施していく必要があります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	当面は現状の事業を維持しますが、今後、保存樹林に指定されている山林を計画的に市民緑地へ移行させるなど施策の展開を検討し、更に市民満足度を向上させていきます。					

事務事業名	民間開発への指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
開発事業者		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）		
	事業費	0	0	0		
	人件費	2,368	2,378	2,353		
目 的	総事業費	2,368	2,378	2,353		
開発事業の進展で失われつつある街中の緑をできるだけ確保していきます。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金	0			
		県支出金	0			
		市債	0			
		その他	0			
		一般財源	0			
		合 計	0			
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開発協議件数			単位	件
	内容説明	緑化、公園設置の指導件数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	70	70	70	
	実 績	62	51	— — —		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
	実 績			— — —		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
	実 績			— — —		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
	実 績			— — —		
課 題						
屋上緑化や壁面緑化など、空間を有効利用した緑化についても推進していく必要があります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	今後も、開発事業者の協力を得て、より多くの公園及び緑地を創出できるよう指導していきます。					

事務事業名	記念樹植樹事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	みどり推進係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			31年度（決算額）		2年度（決算額）		3年度（予算額）	
		事業費	0		0		0	
		人件費	74		74		74	
目 的		総事業費	74		74		74	
市民の緑化に関する意識の高揚を図ります。		3年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		0				
		合 計		0				
手段、手法【実施手法：直営】		3. 活動内容						
活動指標1	名称	植樹された本数				単位	本	
	内容説明	実際に植樹された木の本数						
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定	0	0	0			
		実 績	0	0	— — —			
活動指標2	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標3	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標4	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
課 題								
植樹場所を確保する必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続 植樹場所が、大和ゆとりの森の整備の進捗状況に左右されますが、今後は、植樹本数、植樹場所などの検討を進めていきます。				

事務事業名	街区公園等整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	26,700	116,986	3,653	
		人件費	8,510	7,431	4,459	
目 的		総事業費	35,210	124,417	8,112	
周辺住民に憩いや遊びの場を提供します。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・新たに公園用地として確保した市有地や借用地を、法令に基づき、街区公園や緑の広場として整備します。		県支出金			0	
		市債			2,800	
		その他			0	
		一般財源			853	
		合 計			3,653	
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	公園整備面積			単位	ha
	内容説明	公園整備面積（年間）				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	0.17	0.98	0.01	
		実 績	0	0.98	— — —	
活動指標 2	名称	公園整備進捗率			単位	%
	内容説明	進捗率（年間の整備公園数÷計画整備公園数×100）				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	100	100	100	
		実 績	100	100	— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題		・本市の公園整備は、大和市緑の基本計画に掲げる一人当たりの公園面積の目標値を大きく下回っているため、計画的に整備を進める必要があります。 ・また、コミュニティ形成や災害時の避難場所等の拠点として重要な役割を果たす街区公園は、地区によりばらつきが生じないように適正に配置する必要があります。				

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度
	Ⅱ：見直しのうえで継続 令和3年度は、中央6号公園の拡幅整備と、中央林間の（仮称）緑野青空子ども広場跡地公園の整備に向けた検討を行います。				

事務事業名	やまと公園改修整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園整備係	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	令和02年度		令和04年度		

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費 (単位：千円)			
市民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	0	22,072	239,665
		人件費	0	8,917	8,917
目 的		総事業費	0	30,989	248,582
供用開始から45年以上経ち施設が老朽化していることから、利用者の安全を確保し、公園の魅力や利便性を向上させる大規模改修整備工事を行います。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		112,187	
		県支出金		7,798	
		市債		110,100	
		その他		0	
		一般財源		9,580	
		合 計		239,665	
手段、手法【実施手法：直営・委託】					
隣接する旧商工会議所跡地等についても公園として拡張し、大規模改修整備工事の中で整備を行います。					
大規模改修整備にあたっては、芝生広場や休憩所の整備を行い、憩いや賑わいのある誰もが足を運びたくなる公園の整備を行います。					
成 果（効果・予測）					
・公園の安全性が向上します。 ・公園の機能と利用者の利便性が向上します。 ・子どもの遊び場として、子育て環境が充実します。 ・災害時の一時避難場所等として、防災機能が向上します。					
課 題					
・駅に近く交通の利便性がよいという立地を生かし、様々な地域から集客できる魅力のある公園に改修する必要があります。 ・改修後の維持管理や利活用についても検討する必要があります。					

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	－	31年度	－	2年度 I：現状のまま継続
	令和3年度は引き続き既存施設の撤去を行い、撤去完了後に公園施設や休憩所等の整備を行います。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】				

事務事業名	公園施設等運営支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	令和02年度	令和02年度	1年	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
引地台公園、引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場の指定管理者の（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
	事業費	0	16,195	0
	人件費	0	149	0
目 的	総事業費	0	16,344	0
新型コロナウイルス感染症の影響により、休館などの対応を行った施設の指定管理者の運営支援を行います。	3年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	運営支援金の交付	単位 回数
		内容説明	運営支援金の交付回数	
		指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定	0
			実 績	0
成 果（効果・予測） 指定管理者による安定した施設の管理運営が行えます。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 支援金の算出に当たっては、施設管理者と十分な協議・調整の必要があります。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	31年度	2年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	—	31年度	—	2年度	Ⅲ：廃止または終了
	引地台公園、引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場の指定管理者に支援金を交付して事業は終了となります。					

事務事業名	多胡記念公園運営支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境施設農政部	みどり公園課	公園管理事務所	安斉 行雄

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	令和02年度		令和02年度	1年

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費		(単位：千円)			
		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）		
	事業費	0	498	0		
	人件費	0	74	0		
目 的	総事業費	0	572	0		
新型コロナウイルス感染症の影響により、休館などの対応を行った施設の指定管理者の運営支援を行います。	3年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金		0			
	県支出金		0			
	市債		0			
	その他		0			
	一般財源		0			
	合 計		0			
手段、手法【実施手法：直営】 （公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団に対して、支援金を交付します。	3. 活動内容					
	活動指標 1	名称	運営支援金の交付		単位	回数
		内容説明	運営支援金の交付回数			
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定	0	1	0
			実 績	0	1	— — —
成 果（効果・予測） 指定管理者による安定した施設の管理運営が行えます。	活動指標 2	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定			
			実 績			— — —
課 題 支援金の算出に当たっては、施設管理者と十分な協議・調整の必要があります。	活動指標 3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定			
			実 績			— — —
	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
			予 定			
			実 績			— — —

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	－	31年度	－	2年度	Ⅲ：廃止または終了
	多胡記念公園の指定管理者に支援金を交付して事業は終了となります。					